

自由之理

和
91
171

卷

第四編

一千八百七十一年倫敦出版

英國 彌爾著

ON
LIBERTY.

—
自由之理

明治壬申二月發兌

駿河靜岡

中村敬太郎譯
木平謙一郎版

櫻島小學之印

宮野小

一千八百七十年倫敦出版

英國 彌爾著

ON LIBERTY

BY

JOHN STUART MILL.

TRANSLATED

BY

K. NAKAMURA.

SURUGA

1871.

山縣馬場
國吉敷郡
宮野小學

明治辛未初冬新刻

駿河靜岡

中村敬太郎譯
木平謙一郎版

自由之理

和
31
172

種
第
四
冊

櫻 學

自序

凡事不可無限界。唯愛不可有限量。此意也。西賢倍

根言之。於二百禩之前。而今宇內文明諸邦之婦人。

亦能口之矣。此書論政府之權。當有限界。明白詳備。

故余別舉當無限者言之。夫愛不可有限量。

上帝愛人無有限量。故人亦當愛。上帝愛人無有

限量。愛上帝之事。姑置不論。請言愛人一端。吾之

靈魂與五官四肢。明係神之妙造。為永遠無疆之

洪賜。審思此則自愛之心。油然而生。君親朋友一國

之人。天下之人。皆為神所造。與吾同。審思此則

和
31
173

五

第八號

自由之理

二下

櫻白學

議論ノ自由ヲ好マザル人ハ、コノ上ニイヘル如キ思想ノ

盛ナランコトヲ防ガントテ、説ヲ立テカク言フベシ。曰ク、通常

ノ人ハ、**國**ノ執ルトコロノ意見ヲ信ジテ事足り。他ノ

理學者神學者ニテ、或ハワガ方ノ意見ニ與シ、或ヒハワガ

方ノ意見ニ敵スルモノアリトモ、コレ等ヲ知ルヲ要セズ。

理會スルヲ要セズ。通常ノ人ニ向ヒテ、ソノ對敵ノ黨ニテ

論説スル謬誤ヲ言露スハ無益ナル事ナリ。誰ニテモ衆人

ノ中ニ能ク吾ガ教道ノ根株ニ達シ、四面敵ヲ受ケ、應答響

ノ如キモノ、アラシニハツレニテ事足ヌズシ。コノ人ハ、

特ニ教道ニ習熟シ、真理ノ原由ニ推溯シタレバ、ソノ他衆

人ハコノ人ニ依頼シ、ソノ説ヲ以テ定規トシ、固ク信ジテ

自由之理

三

和
31
174

惟
茅
四
號

學之櫻島

自由之理卷之三

人民ニ獨自一箇大ルモノ然スルハ福祚安寧ノ原質ナ

ルヲ論ス。郡

意見ヲ締造スルノ自由。及ビ底蘊ヲ盡シ。意見ヲ道出ス

ノ自由ハ。人生ノ必要ニシテ缺ベカラザルモノニシテ。

モシコノ自由ヲ許サレバ。人智ヲ毒シ徳善ノ性ヲ壞ル

トヲ上ニ論ジタリ。既ニ由ノ理論ヲ是ナリト許シタラシ

ニハ。コレヨリシテ。人タルモノハ。巴ガ意見ヲ行事ニ發ス

ルノ自由アルベキヤ否ヤト考察スルヨニ進メリ。即チソ

ノ意見議論ヲ。日用生涯ニ行ヒ出シ。他人ヨリ妨礙セラレ

トナク。或ハ身體ニ屬スルモノ。或ハ徳行禮儀ニ屬スル

和
31
173

雜
第
四
號

自由之理

四

學櫻

自由之理卷之四

仲間會所

即チ政府

ニテ人民各箇ノ上ニ施シ行フ權勢ノ限

界ヲ論ス

吉敷郡

問テ

曰然

バ政府ニテ

一箇人民ノ上ニ加ル權勢ノ當然ナ

ル限界ハ如何ニゾヤ仲間會所即チ政府ノ權勢ハ安ニ始マル

ヤ人生ハ銘々一己ナルモノト寄合談合スル仲間ナルモノトコノ二者ヲ以テ成リ立ツモノナルガ人生ノ中ニア

リテ人民各箇ニテ幾許ノ分ヲ占ムベク仲間會所ニテ幾

許ノ分ヲ占ベキヤ以上問題ヲ下文次第ニ解釋ス

仲間會所即チ政府ニテモ箇々人民ニテモ各最モ多ク自己ニ

關係スルモノニ於テ當然ノ分ヲ受ベシ詳カニコレヲ言

ハトリヒトリ

日

自由之理

五

和

91

176

和
葉
西
跡

櫻島

學之

宮

自由之理卷之五

施用ヲ論ス

周防

コノ書ニ述ベタルトコロノ道理ハ凡ソ詳細ニ辯論スル

爲ノ根元基礎ト定ムツノ後コノ道理ヲ普ク百事ニ施用

スルコトニ進ムナリ。即チ官府ノ政事及ビ修德訓俗ノ事ニ

於ル皆コノ道理ヲ施シ進益ノ實效アルベキヲ期スルナ

リ。蓋シ二箇ハ要語ヲ以テコノ書全部ノ道理ヲ總括スル

ガ故ニコ、ニ實事施用ノ式様ヲ掲擧シテ二箇要語ノ旨

義并ニ二箇各守ルベキ限界ヲ分明ニ説ク務メタリ。庶ク

ハ世人二箇ノ中何ニ屬シテ用ユベキヤト疑ハシキ案件

起ルトキコレニ就テ察スレバ二箇ノ間ノ天平ヲ執リ均

自由之理卷之五

村上親譯

牧牛說

全三冊

中村敬宇譯

共和政治

既三冊刻

全八冊

美國人ギルレット著

中村敬宇譯

西國童子鑑

既二冊刻

全

中村敬宇著述

西稗雜纂

既一冊刻

全

中村敬宇譯

西國崇行編

近刻

全

英人スマイルス著

自由之聲

同人社藏版



大慈齋橋藥師町

東京芝神明前

同 横山町三丁目

同 水石町二丁目

同 大傳馬町三丁目

同 馬喰町三丁目

同 小石川大門町

伊丹屋善兵衛

岡田屋嘉七

和泉屋金右衛門

椀 屋善兵衛

袋 屋龜次郎

嵐 村利助

雁金屋清吉

書

肆